

皆さまとともに、70年。



ミニ・ディスクロージャー誌
平成25年3月期 営業の中間ご報告

2012

(平成24年9月30日現在)

千葉銀行の プロフィール

設立	昭和18年3月
拠点	174店舗 (本支店155、特別出張所5、出張所12、仮想店舗2) 両替出張所 3か所 店舗外現金自動設備 37,555か所 (うちコンビニATM [E-net] 12,001か所、セブン銀行との提携による共同ATM 15,790か所、ローソンとの提携によるATM 9,503か所)
国内	
海外	3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン) 2駐在員事務所(上海、シンガポール)
従業員数	4,373人
総資産	10兆9,580億円
預金	9兆3,179億円
貸出金	7兆8,067億円
資本金	1,450億円
発行済株式数	875,521千株
自己資本比率	連結14.40% 単体13.86%

※諸計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

CONTENTS

- 2 創立70周年を迎えるにあたって・中期経営計画「フロンティア70」
- 3 頭取メッセージ
- 5 平成24年9月期業績のご報告
- 7 資産健全化と再生支援
- 8 トピックス
- 9 ちばぎんグループのCSR
- 13 財務諸表(連結)
- 15 財務諸表(単体)
- 17 株式の状況
- 18 ちばぎんネットワーク

当行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関

一般社団法人全国銀行協会

連絡先 全国銀行協会相談室

電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772



～創立70周年を迎えるにあたって～

当行は、平成25年3月31日に創立70周年を迎えます。
日頃の皆さまのご支援・ご愛顧にお応えするため、「未来を育む」という当行のCSRコンセプトに基づき、地域社会への貢献を中心とした様々な記念事業を展開してまいります。

主な記念事業	実施(予定)時期
学生版ビジネスアイデアコンテストの実施	平成24年10月
創立70周年記念「ちばぎんひまわりコンサート」の開催	11月
	平成25年 4月
九十九里海岸での「ちばぎんの森(第4)」森林整備活動の開始	2月
旧木更津支店の敷地を活用した「ちばぎん ひまわり憩いの広場」の新設	2月
日本赤十字社千葉県支部への移動採血車の寄贈	2月
千葉県の金融史を紹介する「ちばぎん金融資料室」の設置	4月
千葉大学・千葉工業大学と連携した中小企業向け助成制度の創設	4月

第11次中期経営計画

「フロンティア70」

(計画期間：2011年4月1日～2014年3月31日)

お客さま第一主義の下、地域のお客さまのご期待に応える創造力に溢れた「リテールトップバンク」を目指します。

営業態勢の強化

課題
I

地域における当行の存在感を圧倒的なものとするため、営業担当者の役割の明確化や提案力の強化、積極的な営業展開により、シェアの向上を図ります。

地域経済への積極的な貢献

課題
II

金融円滑化への取組みに加え、地域情報の発信機能の向上や産官学連携に向けた主体的な取組みをつうじ、地域経済の復興・発展に向けた貢献を積極的に行います。

経営管理態勢の高度化

課題
III

コンプライアンスの徹底やリスク管理態勢の高度化により、強固な経営基盤を構築します。さらに生産性向上や大胆なコスト削減を進め、当期純利益の引上げを図ります。

人材育成の充実

課題
IV

研修に加え効果的なOJTを実施するなど、人材育成の手法を改善・充実させます。さらに、職員のスキル・適性に応じた配置や女性職員の登用を積極的に行い、組織力を高めます。

Top Message お客さまに最も身近で、

平成24年9月期の決算の状況について

当中間期のわが国の経済を振り返りますと、震災復興関連予算の執行によって公共投資が増加したことや、自動車に対する需要刺激効果などにより個人消費が堅調に推移したことなどから、景気は緩やかに持ち直しの動きを続けました。

また、千葉県内においても、復興関連の公共事業のほか、4月にオープンした木更津のアウトレットパークなどの大型商業施設やレジャーが好調で、これらの分野を中心に持ち直しの動きが見られました。

このような経済環境の下、当中間期につきましては、地域のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えした結果、国内貸出金は前年同期比2,645億円増加し7兆7,261億円となり、国内預金についても前年同期比1,999億円増加し9兆2,161億円となりました。

損益については、運用利回りが低下したことなどから、コア業務純益は前年同期比29億円減少し336億円となりました。経常利益は前年同期比21億円減少し336億円、中間純利益は前年同期比22億円減少し207億円となりました。また、連結自己資本比率は14.40%、連結TierI比率は13.00%と、引き続き海外に拠点を持つ銀行に求められる国際統一基準8%を大きく上回っています。中間配当金につきましては、安定配当の考え方を維持し、一株当たり5円50銭としました。また、

株主還元を一層充実させる観点から、5月から6月にかけて1,000万株の自己株式を取得したことと続き、11月から12月にかけても、1,000万株、50億円を上限として自己株式を取得することとしました。

中期経営計画「フロンティア70」の進捗状況について

当行では、平成23年4月に第11次中期経営計画「フロンティア70」をスタートし、お客さま第一主義の下、高い成長ポテンシャルを有する千葉県の発展に向けて積極的に貢献するとともに、将来の環境変化に耐えうる磐石な営業基盤・経営基盤を構築していくため、各種施策に取り組んでいます。

営業面では、今後成長が見込まれる分野への取組みを強化しています。特に、国際業務については、お客さまの海外進出ニーズの高まりを受け、4月にインドネシアのCIMBニアガ銀行と業務提携を開始するなど、アジア地域でのネットワークをさらに強化しました。また、環境・エネルギーに関しては、再生可能エネルギーの固定価格買取制度が開始されたことを踏まえ、専用の融資制度「太陽光発電事業支援融資制度(ちばぎんエコ・パワー)」の取扱いを開始し、新たに発電ビジネスに参入するお客さまのサポート態勢を拡充しました。

また、当行の成長を確固たるものとし、将来にわたって競争力を維持・向上させていくためには、

信頼される千葉銀行へ

従業員一人ひとりが一層能力を高め、それを最大限に発揮することが必要です。このため、海外や異業種などへのトレーニー派遣や語学研修の強化により、アジアや医療・農業などの成長分野に強い人材を育成しています。さらに、「女性活躍サポートチーム」による女性行員のさらなる意欲向上と活躍に向けた環境整備に取り組んでいます。

創立70周年を迎えるにあたって

当行は、平成25年3月31日に創立70周年を迎えます。これもひとえに、地域の皆さまからのあたたかいご支援、永年に亘るご愛顧の賜物であり、役職員一同、心より感謝申し上げます。

70周年を迎えるにあたり、九十九里海岸での「保安林の整備」や、日本赤十字社千葉県支部への「移動採血車の寄贈」、千葉県の金融史を紹介する「金融資料室の設置」等、お客さまや地域社会への貢献を中心としたさまざまな記念事業の実施を予定しております。

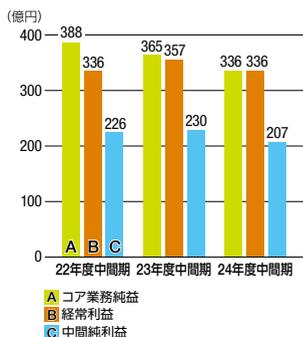
今後につきましても、お客さま、株主の皆さま、地域社会など全ての方々のご期待にお応えできるよう最大限の努力を尽くしてまいります所存です。一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



取締役頭取 佐久間 英利

損益の状況

損益の状況



役員取引等利益などが増加した一方、貸出金利回り低下等に伴い資金利益が減少したことなどにより、コア業務純益は前年同期比29億円減少し、336億円となりました。また、経常利益は前年同期比21億円減少の336億円、中間純利益は前年同期比22億円減少の207億円となりました。

用語解説

コア業務純益

コア業務純益とは、預金・貸出金など銀行の基本的な業務の成果を示す銀行固有の利益指標である「業務純益」から、「一般貸倒引当金繰入額」および「国債等債券関係損益」を除いたものです。

なお、このコア業務純益は、損益計算書の中には記載されません。

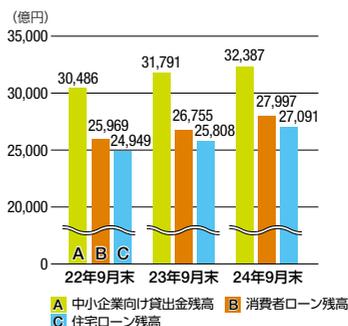
貸出金等の状況

貸出金の状況



地域のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えしました結果、国内貸出金は前年同期比2,645億円増加し、7兆7,261億円、県内向け貸出金は前年同期比1,511億円増加し、5兆7,812億円となりました。

中小企業向け貸出金・消費者ローンの状況



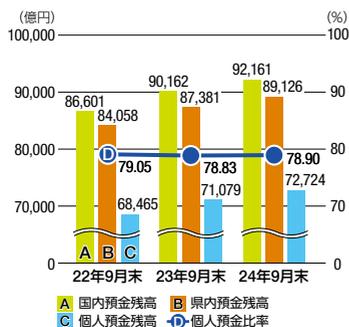
金融円滑化に向けた取組みや、中小企業のお客さまへのコンサルティング機能の発揮等に努めました結果、中小企業向け貸出金残高は前年同期比596億円増加し3兆2,387億円となりました。

また、お客さまの住宅資金ニーズに積極的にお応えしました結果、住宅ローン残高は前年同期比1,283億円増加し2兆7,091億円となりました。

※中小企業には個人事業主も含めております。

預金等の状況

預金の状況



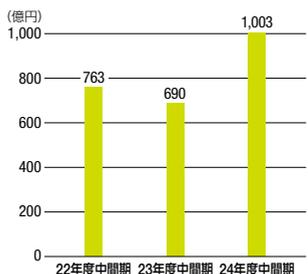
預金につきましては、給与振込口座や年金受取口座など「家計のメインバンク」としてご利用いただくことを目指して活動しました結果、個人預金残高は前年同期比1,645億円増加し、7兆2,724億円となりました。

投資型金融商品の状況



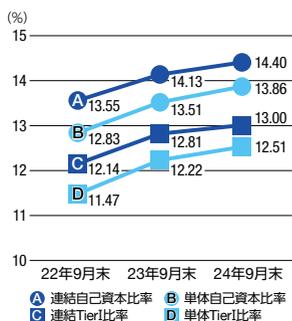
投資信託残高は、株式市況の低迷等に伴い、前年同期比507億円減少し、3,488億円となりました。一方で、お客さまのニーズに応じた商品提案を行った結果、個人年金保険の取扱保険料は、前年同期比312億円増加し、1,003億円となりました。

個人年金保険 (取扱保険料) の状況



自己資本比率等の状況

自己資本比率・Tier I比率



当行の自己資本比率は、連結で14.40%、単体で13.86%となり、海外に営業拠点を持つ銀行に求められる国際統一基準8%を上回っています。また、Tier I比率は、連結で13.00%、単体で12.51%となりました。

用語解説

自己資本比率

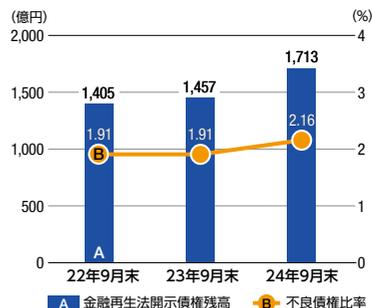
金融機関の健全性を示すものとして最も広く用いられている指標です。当行のように海外に営業拠点を持つ銀行は、自己資本比率を国際統一基準である8%以上とすることが求められています。

金融再生法開示債権の状況

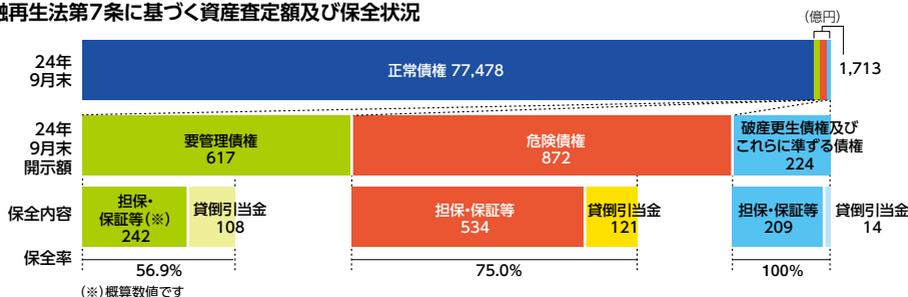
平成24年9月末時点の金融再生法開示債権残高は、1,713億円となりました。また、不良債権比率は2.16%と引き続き低い水準を維持しています。

引き続き営業店と本部が連携し、中小企業再生支援協議会等の外部機関も活用しながら、お客さまの経営改善に向けた取組みを支援してまいります。

不良債権の推移



金融再生法第7条に基づく資産査定額及び保全状況



用語解説

要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」を除く3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性が高い債権です。

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

金融円滑化に向けた取組み

当行は、地域金融機関として金融サービスの提供をつうじて、地域のお客さまのニーズにお応えし、地域の発展に貢献するという役割・使命を果たす姿勢を堅持しています。特に、地域への円滑な資金供給をはじめとする金融仲介機能の強化やお客さまへの経営健全化支援等による地域密着型金融の実践については、従来から最も重要な経営課題として位置づけ、各種施策に積極的に取り組んでまいりました。

このようななか、現在の厳しい経済・雇用環境や、お客さまのお借入負担の状況などに鑑み、より一層お客さまの声に真摯に耳を傾け、適切にお客さまのご相談に対応してまいります。また、中期経営計画にも掲げる「お客さま第一主義」を徹底し、今後もコンサルティング機能を発揮した営業展開を実践してまいります。

「メセナアワード2012」の受賞

当行は「メセナアワード2012」において、「文化の映写機賞」を受賞しました。これは、当行が創立20周年の記念事業として開始した活動「フィルムライブラリー」が、16ミリフィルム等の貴重な映像資料の保管と活用に貢献していることに加え、地域でのコミュニティの形成を促している点が評価されたものです。千葉県に本社を置く企業が、本賞を受賞するのは初めてとなります。



【メセナアワード】 公益社団法人企業メセナ協議会により、芸術文化の振興に高く貢献した企業等のメセナ活動を顕彰する賞として1991年に創設されました。

【フィルムライブラリー】 幼稚園や子供会、社会福祉施設など幅広い団体の皆さまに、劇映画やアニメーションなど多岐にわたる分野の16ミリフィルムやビデオ作品等を無料でご利用いただいています。

●お問合せ先 広報CSR部 フィルムライブラリー担当 ☎043-245-1111 (10:00~16:00)

「つくば支店」オープン

平成24年10月17日、守谷支店内に店舗内店舗として「つくば支店」を新設しました。平成25年10月中に、大規模な土地区画整理事業が進展するつくばエクスプレス「研究学園駅」付近に店舗を新設し、移転オープンする予定です。今後も、広域千葉圏における営業基盤の拡大を図っていきます。

「Gomez地方銀行サイトランキング2012」で2期連続1位を獲得



平成24年8月、地方銀行・第二地方銀行のウェブサイトの評価した「Gomez地方銀行サイトランキング2012」で、当行は2期連続1位を獲得しました。「機能性・使いやすさ」や「商品・サービス情報の充実度」において高評をいただきました。今後もお客さまの利便性を図ったサイトづくりを行っていきます。

「小さな親切」運動賞の受賞

当行は「小さな親切」運動本部より平成24年度の「小さな親切」運動賞を受賞しました。これは平成23年12月に、当行グループ役職員から東日本大震災の被災地の子ども達へクリスマスプレゼント615個を寄贈したことによるものです。



あなたに、全力。 ちばぎんグループのCSR。

ちばぎん
未来を育む
宣言

ちばぎんグループにおける取組み

ちばぎんグループは、本業等をつうじて全てのステークホルダーの皆さまからの期待にお応えするとともに、持続可能な地域社会の実現に貢献できるよう「グループCSR活動方針」を掲げ、グループ役職員一丸となってCSR活動に取り組んでいます。

グループ CSR 活動方針

ちばぎんグループは、持続可能な地域社会実現のため、金融仲介機能の発揮等の本業に加え、誠実かつ公正な企業活動、気候変動等の環境問題など地域社会を取り巻く様々な課題解決に向けた活動等に、グループ役職員一人ひとりが当事者という意識を持って、積極的に取り組んでまいります。

そして、これら当行グループの取組みの情報開示をつうじ、ステークホルダーの皆さまとのより良い関係作りに注力いたしますとともに、「新たな地域社会の姿」を皆さまと描いてまいります。

ちばぎんグループのCSRコンセプト

ちばぎんグループは、持続可能な地域社会実現のため、CSR活動に積極的に取り組んでまいります。

お客さま満足度(CS)の向上 コンプライアンス

金融仲介機能の発揮 (本業)

地域密着型金融の推進、金融円滑化への対応等、地域への円滑な資金供給に注力してまいります。

地域社会への貢献 (社会貢献活動)

「未来を育む」をキーワードに、「ひと」「環境」「産業」の育成に資する社会貢献活動を展開してまいります。

人材育成の強化

役職員一人ひとりが、お客さまのニーズに的確にお応えできる意識・スキルを身に付けてまいります。

ひとの未来を育む

「日本赤十字社千葉県支部」への献血バスの寄贈

当行は、創立70周年の記念事業のひとつとして、平成25年2月に移動採血車(献血バス)1台を寄贈します。日本赤十字社千葉県支部が千葉県赤十字血液センターとともに「千葉県内での献血受入基盤強化に向けた取組み」に賛同し、その事業を支援するべく移動採血車を寄贈することとしたものです。平成24年10月、車両相当額(約40百万円)を日本赤十字社千葉県支部へ寄付しました。今後も、地域のトップバンクとして「ひとの未来を育む」社会貢献活動を積極的に行ってまいります。



創立70周年記念「ちばぎんひまわりコンサート」

平成24年11月、創立70周年記念事業の一つとして「第46回ちばぎんひまわりコンサート」を開催しました。今回のコンサートでは、世界屈指のバンドネオン奏者である小松亮太さんをお迎えし、地域の皆さまにバンドネオンの心打つ音色に包まれた魅力溢れるステージをご堪能いただきました。

「第47回 ちばぎんひまわりコンサート」のお知らせ
開催日 平成25年4月13日(土)
会場 千葉県文化会館
(1,700名様を無料でご招待)
出演予定 東京フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)

●お問合せ先 広報CSR部 ひまわりコンサート担当 ☎043-245-1111 (9:00~17:00)

公益信託ちばぎんハートフル福祉基金

当基金は、千葉県内の社会福祉法人・ボランティア団体等の皆さまが行う社会福祉活動を、資金面から支援することを目的に設定されました。平成24年8月までの助成先累計は37先、交付総額は約19百万円となりました。



金融教育への取組み

地域の小・中・高校生を対象に、本支店にて職場体験の受入れを行っています。銀行業務のご紹介をはじめ、店内やATM等の見学のほか、電話応対や名刺交換等のビジネスマナー体験等を実施しており、ご好評をいただいています。

また、平成24年3月及び10月には千葉大学の大学院生と共同で、地域の小学校へ「銀行とアグリビジネス」をテーマとした出張授業を行い、地域と銀行との密接な関わりについてご紹介しました。



環境の未来を育む

環境に関する各種融資制度

■ 環境格付融資制度

(ちばぎんエコ・ステップ)の取扱い

平成24年4月より、環境に配慮した経営を行うお客さまを金融面で支援するため「ちばぎんエコ・ステップ」の取扱いを始めました。本制度では、お客さまの環境に対する取組みを当行独自の「環境格付」評価モデルで評価し、その格付に応じた融資利率の割引を行っています。

■ 太陽光発電事業支援融資制度

(ちばぎんエコ・パワー)の取扱い

平成24年9月より、再生可能エネルギー発電事業へ参入するお客さまを支援するため「ちばぎんエコ・パワー」の取扱いを始めました。本制度の特長として、当該事業を長期安定的にご支援するため、融資利率における固定金利の適用期間を最長20年までとしています。

～ 今後も、お客さまの環境に配慮した経営を応援してまいります。～

第2回ちばぎん省エネ・ECOセミナーの開催

平成24年9月、第2回ちばぎん省エネ・ECOセミナーを開催しました。本セミナーでは、太陽光発電事業の魅力と参入に係る留意点の情報提供等を行いました。また、太陽光パネルメーカーや施工業者とのビジネスマッチングを目的とした商談会も開催しました。

- 第1回目のセミナーでは、省エネに関する情報及び具体的な手法のご紹介や、省エネ診断業者との商談会を実施しました。



環境保全への取り組み

当行役職員・OBで構成するボランティア組織「Vネットクラブ」では、地域の環境保全を目的に、九十九里浜や印旛沼をはじめ県内各地で美化活動に取組んでいます。

また、二酸化炭素を吸収する緑を育む活動として、富津市鬼泪山や長生郡白子町にて森林整備活動を行っています。平成25年2月には、創立70周年記念事業の一つとして山武市蓮沼にて「ちばぎんの森(第4)」森林整備活動を開始する予定です。



産業の未来を育む

ひまわりベンチャー育成基金

千葉県内のベンチャー企業の支援等をつうじて千葉県経済の発展と活性化に寄与することを目的に、平成10年より助成金交付事業を行っています。平成24年7月までの助成先累計は150先、交付総額は4億5千万円となりました。

地方銀行 フードセレクション2012

平成24年10月、全国の地方銀行39行の主催による食の展示商談会「地方銀行 フードセレクション2012」が開催されました。今回で7回目となる本商談会は年々規模を拡大しており、出展企業は620社、来場したバイヤーは10,323名となりました。当行のお客さまも28社出展し、来場したバイヤーに試飲・試食をつうじて自社商品をPRする等、活気のある商談会となりました。



第3回ちばぎんアグリ商談会

平成24年7月「第3回ちばぎんアグリ商談会」を開催し、農業経営に関する講演のほか、農業生産者48社とバイヤー14社との個別商談会を実施しました。農業生産者からは「次回の面談につながり、商談としてまとめよう」、バイヤーからは「今回の商談会をご縁に後日、面談の予定を入れることができた」などの声が寄せられました。



海外事業サポート体制

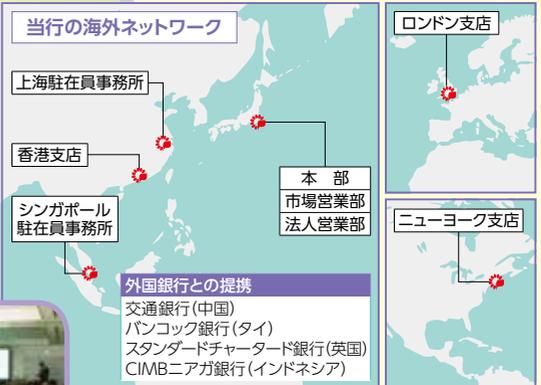
当行では、海外事業展開などを志向するお客さまのニーズにお応えするため、海外ネットワークの充実を図っています。また、海外事業に関する各種セミナーやアジア各地での商談会も積極的に開催しています。



シンガポール食の商談会
(8月22日～23日開催)



インドネシアセミナー
(10月9日開催)



財務諸表(連結)

■ 中間連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	平成23年9月末	平成24年9月末	科目	平成23年9月末	平成24年9月末
(資産の部)			(負債の部)		
現金預け金	356,402	439,774	預金	9,063,241	9,309,482
コールローン及び買入手形	69,771	34,220	譲渡性預金	225,992	214,220
買現先勘定	29,993	19,994	コールマネー及び売渡手形	18,319	134,768
買入金銭債権	33,879	27,568	債券貸借取引受入担保金	48,064	58,601
特定取引資産	279,926	325,016	特定取引負債	32,516	31,854
金銭の信託	28,894	39,880	借入金	173,290	309,595
有価証券	1,865,519	2,068,300	外国為替	415	238
貸出金	7,493,147	7,778,444	社債	40,000	40,000
外国為替	2,427	2,238	その他負債	89,127	110,587
その他資産	100,595	87,158	退職給付引当金	19,375	19,488
有形固定資産	96,358	99,023	役員退職慰労引当金	201	170
無形固定資産	10,092	10,352	睡眠預金払戻損失引当金	689	1,165
繰延税金資産	45,208	34,548	ポイント引当金	421	411
支払承諾見返	89,621	94,947	特別法上の引当金	17	15
貸倒引当金	△ 47,110	△ 48,306	再評価に係る繰延税金負債	15,158	13,240
			支払承諾	89,621	94,947
			負債の部合計	9,816,453	10,338,787
			(純資産の部)		
			資本金	145,069	145,069
			資本剰余金	123,377	122,134
			利益剰余金	363,494	384,862
			自己株式	△ 12,158	△ 3,098
			株主資本合計	619,782	648,967
			その他有価証券評価差額金	△ 1,320	10,810
			繰延ヘッジ損益	△ 1,772	△ 1,769
			土地再評価差額金	7,548	9,393
			その他の包括利益累計額合計	4,455	18,433
			新株予約権	155	208
			少数株主持分	13,880	6,766
			純資産の部合計	638,274	674,375
資産の部合計	10,454,728	11,013,163	負債及び純資産の部合計	10,454,728	11,013,163

■ 中間連結損益計算書 (単位:百万円)

科 目	(平成23年4月 1日から 平成23年9月30日まで)	(平成24年4月 1日から 平成24年9月30日まで)
	平成23年9月期	平成24年9月期
経常収益	118,127	110,748
資金運用収益	73,914	71,497
(うち貸出金利息)	(63,310)	(61,121)
(うち有価証券利息配当金)	(9,762)	(9,742)
信託報酬	0	0
役員取引等収益	20,046	20,120
特定取引収益	848	1,097
その他業務収益	3,635	3,618
その他経常収益	19,681	14,413
経常費用	80,629	74,014
資金調達費用	6,011	5,355
(うち預金利息)	(3,177)	(2,427)
役員取引等費用	7,795	7,916
特定取引費用	—	3
その他業務費用	1,055	460
営業経費	43,502	44,737
その他経常費用	22,263	15,540
経常利益	37,498	36,734
特別利益	7	2
固定資産処分益	7	—
金融商品取引責任準備金取崩額	0	2
特別損失	303	381
固定資産処分損	302	381
減損損失	0	0
税金等調整前中間純利益	37,202	36,355
法人税、住民税及び事業税	8,352	12,719
法人税等調整額	5,051	1,130
法人税等合計	13,403	13,850
少数株主損益調整前中間純利益	23,799	22,504
少数株主利益	328	481
中間純利益	23,470	22,023



財務諸表(単体)

■ 中間貸借対照表 (単位：百万円)

科目	平成23年9月末	平成24年9月末	科目	平成23年9月末	平成24年9月末
(資産の部)			(負債の部)		
現金預け金	355,749	438,025	預金	9,098,477	9,317,917
コールローン	65,771	30,720	譲渡性預金	225,992	246,320
買現先勘定	29,993	19,994	コールマネー	18,319	134,768
買入金銭債権	24,597	18,373	債券貸借取引受入担保金	48,064	58,601
特定取引資産	279,614	324,222	特定取引負債	32,516	31,854
金銭の信託	25,594	36,380	借入金	172,460	308,560
有価証券	1,865,923	2,073,760	外国為替	415	238
貸出金	7,518,710	7,806,718	社債	40,000	40,000
外国為替	2,427	2,238	その他負債	55,199	73,931
その他資産	56,700	40,970	未払法人税等	7,141	11,185
その他の資産	56,700	40,970	資産除去債務	227	227
有形固定資産	91,041	93,817	その他の負債	47,829	62,518
無形固定資産	9,937	10,203	退職給付引当金	18,867	18,950
繰延税金資産	36,999	26,853	睡眠預金払戻損失引当金	689	1,165
支払承諾見返	64,747	73,084	ポイント引当金	169	162
貸倒引当金	△ 35,817	△ 37,315	再評価に係る繰延税金負債	15,158	13,240
			支払承諾	64,747	73,084
			負債の部合計	9,791,076	10,318,795
			(純資産の部)		
			資本金	145,069	145,069
			資本剰余金	122,134	122,134
			資本準備金	122,134	122,134
			利益剰余金	341,336	356,229
			利益準備金	50,930	50,930
			その他利益剰余金	290,405	305,299
			固定資産圧縮積立金	—	33
			別途積立金	260,971	275,971
			繰越利益剰余金	29,434	29,294
			自己株式	△ 12,158	△ 2,715
			株主資本合計	596,380	620,716
			その他有価証券評価差額金	△ 1,397	10,702
			繰延ヘッジ損益	△ 1,772	△ 1,769
			土地再評価差額金	7,548	9,393
			評価・換算差額等合計	4,378	18,326
			新株予約権	155	208
			純資産の部合計	600,914	639,251
資産の部合計	10,391,990	10,958,047	負債及び純資産の部合計	10,391,990	10,958,047

■ 中間損益計算書 (単位：百万円)

科 目	(平成23年4月 1日から 平成23年9月30日まで)	(平成24年4月 1日から 平成24年9月30日まで)
	平成23年9月期	平成24年9月期
経常収益	108,020	98,918
資金運用収益	73,944	71,590
(うち貸出金利息)	(62,965)	(60,854)
(うち有価証券利息配当金)	(10,206)	(10,169)
信託報酬	0	0
役員取引等収益	16,010	16,305
特定取引収益	618	569
その他業務収益	3,634	3,616
その他経常収益	13,812	6,836
経常費用	72,274	65,291
資金調達費用	6,004	5,346
(うち預金利息)	(3,185)	(2,427)
役員取引等費用	8,975	9,072
特定取引費用	—	3
その他業務費用	1,055	460
営業経費	40,943	42,364
その他経常費用	15,295	8,045
経常利益	35,746	33,626
特別利益	7	—
特別損失	275	320
税引前中間純利益	35,478	33,305
法人税、住民税及び事業税	7,077	11,191
法人税等調整額	5,399	1,355
法人税等合計	12,477	12,547
中間純利益	23,001	20,758



株式の状況

株式の所有者別状況

平成24年9月30日現在

区分	株主数 (人)	所有株式数 (単元)	割合 (%)	
政府・地方公共団体	2	9	0.00	
金融機関	113	395,451	45.42	
金融商品取引業者	42	18,613	2.14	
その他の法人	1,312	137,468	15.79	
外国法人等	個人以外	414	191,218	21.94
	個人	—	—	—
個人その他	25,072	128,067	14.71	
計	26,955	870,826	100.00	

(注) 1. 1単元の株式数は1,000株です。なお、上記のほか、単元未満株式は4,695,087株となっております。

2. 自己株式5,534,507株は「個人その他」に5,534単元、単元未満株式に507株含まれております。なお、自己株式5,534,507株は株主名簿上の株式数であり、期末日現在の実質的な所有株式数は5,533,507株です。

3. 「その他の法人」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が2単元含まれております。

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月

基準日

定時株主総会の議決権：毎年3月31日

期末配当：毎年3月31日

中間配当：毎年9月30日

公告方法

電子公告

(当行ホームページ <http://www.chibabank.co.jp/>)

ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人・事務取扱場所

〒103-8202

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

お問い合わせ先 ☎0120-707-843

大株主上位10名

平成24年9月30日現在

株主名	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	56,051	6.40
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	39,306	4.48
株式会社三菱東京UFJ銀行	35,414	4.04
日本興亜損害保険株式会社	29,998	3.42
日本生命保険相互会社	29,270	3.34
第一生命保険株式会社	26,230	2.99
住友生命保険相互会社	17,842	2.03
明治安田生命保険相互会社	15,891	1.81
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C AMERICAN CLIENTS	12,738	1.45
千葉銀行職員持株会	12,670	1.44

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てております。

2. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は小数点第3位以下を切り捨てております。

株主優待制度

対象株主 毎年3月31日現在、1,000株(1単元)以上保有の株主

株主優待制度の内容

オリジナルカタログ(毎年6月送付予定)から千葉県の特産品等または当行及びちばぎんグループの金融商品・サービスの優待*が受けられる株主優待クーポンのいずれかを、保有株数に応じて、お選びいただけます。

保有株数	1,000株以上 10,000株未満	10,000株以上
優待商品	千葉県の特産品等 3,000円相当または 株主優待クーポン1枚	千葉県の特産品等 6,000円相当または 株主優待クーポン2枚

※金融商品・サービスの優待は次の1~5のいずれか1つをお選びいただけます。

1. 定期預金1年もの店頭表示金利(年)0.2%上乘せ(1枚につき1回限り、500万円が上限)
2. 外国通貨両替手数料20%割引(1枚につき1回限り、割引後レートで日本円100万円相当分のご両替が上限)
3. 遺言信託引受承諾手数料20%割引
4. ちばぎん証券の国内上場株式売買委託手数料20%割引(1枚につき年間1万円が上限)
5. ちばぎん総合研究所主催セミナー受講料20%割引(1枚につき1回限り、1万円が上限)

ちばぎんネットワーク



※平成24年10月17日に、守谷支店内に「つくば支店」を新設しました。なお、平成25年10月中に、つくばエクスプレス「研究学園駅」付近に店舗を新築し、移転オープンする予定です。

コンサルティングプラザ、ローンプラザ

コンサルティングプラザ	3か所(千葉・柏・船橋)
ローンプラザ	4か所(千葉中央・幕張・柏・船橋)



店舗・ATM情報の詳細は左記コードからアクセスして下さい。

店舗数

県内	157店舗(うち、特別出張所5店舗、出張所12店舗、仮想店舗2店舗)
県外	17店舗(東京都11店舗、大阪府1店舗、埼玉県3店舗、茨城県2店舗)
海外	3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン)
海外駐在員事務所	2か所(上海、シンガポール)

平成24年9月30日現在

両替出張所	3か所
自行店舗外現金自動設備	261か所(うち、県内258か所)
コンビニATM[E-net]	12,001か所(うち、県内662か所)
セブン銀行との提携による共同ATM	15,790か所(うち、県内915か所)
ローソンとの提携によるATM	9,503か所(うち、県内380か所)

株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉市中央区千葉港1-2

TEL.043-245-1111 (代表)

<http://www.chibabank.co.jp/>

平成24年12月発行



この印刷物は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすく配慮されたデザイン(カラーユニバーサルデザイン)として認定されました。

